
























様へ

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	
経過	治療前日 (入院日)	当日治療前	当日治療後	治療後1日目	治療後2日目 (退院日)
目標	○手術に対する不安を伝えることができ、不安が最小限となる		○下腹部痛が緩和し、苦痛が最小限となる ○むかつき、発熱に伴う苦痛が最小限となる ○副作用が早期に対処され硬膜外麻酔による痛みのコントロールが図れる		○退院後の生活上の注意点が理解できる
検査	・身長、体重測定		 ・採血 ・採尿		
食事	昼食は絶食の可能性あり 朝食は自宅  	 ・治療終了まで絶食(水分は制限なし) ・治療後、医師指示で食事再開			退院日は朝食のみ
処置・観察	リストバンドを装着します(退院日まで)  手術室で背中に痛み止めのチューブ(硬膜外カテーテル)を挿入します 鼠径部の除毛を行う場合があります 弾性ストッキングのサイズを測定し、お渡しします  両足の甲にマーキングをします	治療前以下を挿入します ・点滴の管 ・尿道カテーテル  時間になれば看護師が治療室にご案内します  穿刺部を診察します	点滴終了後、抜去します 安静解除後、抜去します 抜去します		・退院時にリストバンドを外します 抜去します
	 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります				
点滴・内服	 持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください	 以下の点滴を行います ・持続点滴 ・抗菌剤	 鎮痛剤を服用します		
<持参物> □テープ式オムツ 1枚 □ナプキン(生理用ナプキン夜用1袋) <自宅で済ませて頂く事> □爪切り □マニキュア、ネイルアート外し □入浴(入院当日朝 又は 入院前日夜)					
行動	 チューブ挿入後は医師の許可で歩行を開始します	 以下の治療準備をします ・検査着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリ、時計等の取り外し	治療後2時間は絶対安静です  医師の診察後ベッドにもたれて座れます	医師の許可で歩行を開始します  午前中全身清拭し、治療着からパジャマに着替えます	
説明	 医師・麻酔科医より説明(外来又は入院時) ・治療計画について ・硬膜外麻酔について  病棟看護師より説明 ・入院生活について(パスシートを使用) ・治療について  薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について	 医師より説明 ・治療結果について  看護師より説明 ・治療後の注意点について ・安静について		 医師より説明 ・退院後の治療計画、療養上の留意点について  看護師より説明 ・退院後の療養生活について(退院療養計画書をお渡しします)	

* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください 13-D25-4 2023.11.7版 京都第一赤十字病院
 * 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。
 * この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

